議会だより

りゅうおう

No.167
2014年5月1日
滋賀県竜王町議会

新年度予算で白熱　2
委員会で論戦　7
9人が一般質問　10

うれしい入学式（竜小）

3月
定例会

姉妹都市提携40周年を迎え、記念事業が実施されます

スーセー・マリー市の様子

祖父川への放流管工事が進んでいます

滋賀竜王工業団地1号調整池　放流管工事

自熱可決

平成26年第1回定例会は、3月4日から26日までの23日間の会期で開かれました。

提出された議案は、条例関係14件、平成25年度補正予算関係7件、平成26年度予算関係8件、人事案件3件・その他3件でした。（条例の制定・改正は4～5・7頁に関連記事があります。）

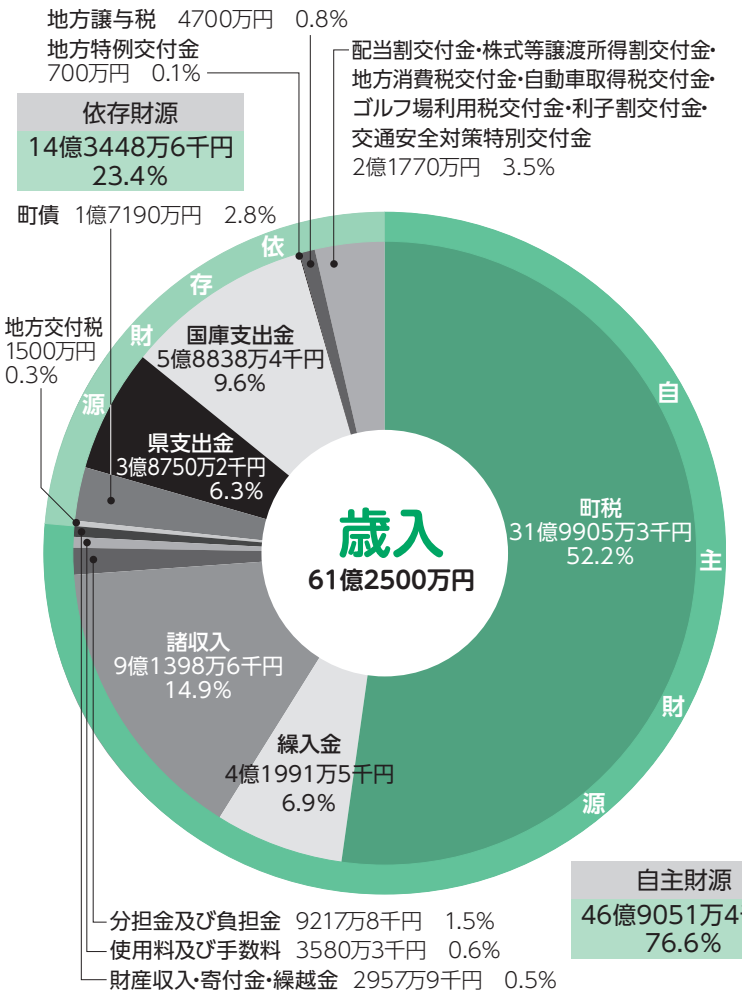
平成25年度一般会計補正予算は、2298万円増額し、予算総額が57億6254万9千円になりました。

平成26年度予算は、一般会計については予算第1特別委員会、特別会計については予算第2特別委員会を設置し、集中審査を行いました。

竜王に消防出張所来る

平成26年度の一般会計は、竜王消防出張所の整備、市との姉妹都市提携40周年記念事業などが行われました。本年度は、（仮称）竜王インター周辺地区の整備、スーセー・マリーます。

会計の状況



平成26年度竜王町予算

平成26年度竜王町の予算

（△は減　単位：千円、％）

会計名			平成26年度当初予算額	平成25年度当初予算額	前年度比較 増減額	前年度比較 増減率
一般会計			6,125,000	6,273,000	△148,000	△2.4
特別会計・企業会計	国民健康保険事業（事業勘定）		1,187,700	1,058,200	129,500	12.2
	国民健康保険事業（施設勘定）	医科	8,200	83,600	△75,400	△90.2
		歯科	51,100	49,800	1,300	2.6
	学校給食事業		60,900	58,000	2,900	5.0
	下水道事業		637,600	641,600	△4,000	△0.6
	介護保険		839,600	695,800	143,800	20.7
	後期高齢者医療		87,300	82,200	5,100	6.2
	水道事業	3条	382,884	324,274	58,610	18.1
		4条	125,253	136,752	△11,499	△8.4
	計		3,380,537	3,130,226	250,311	8.0
総額			9,505,537	9,403,226	102,311	1.1

予算で議論

●平成26年度一般

主な事業

豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり

○環境保全型農業直接支援対策事業　1,721万4千円

○河川総務費・一般管理費　1,255万1千円

みんなが安心して暮らせるまちづくり

○（仮称）竜王消防出張所整備事業　1億500万円

○臨時福祉給付金事業　3,220万7千円

○子育て世帯臨時特例給付金事業　2,054万7千円

○児童発達支援事業　1,123万6千円

○防災情報通信設備整備事業　274万4千円

チャンスを活かすたくましいまちづくり

○緊急雇用創出特別推進事業　312万8千円

○竜王インター周辺地区整備事業　9億6,244万円

○特別支援教育分野人材育成支援事業　1,212万円

町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

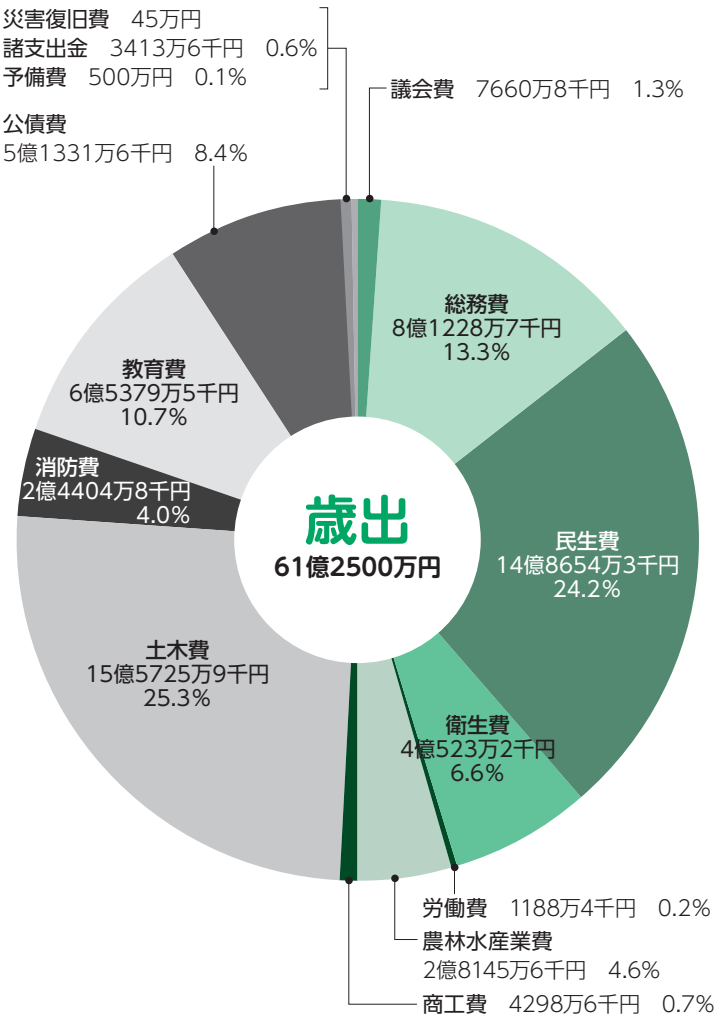
○スーセー・マリー市友好親善使節団派遣事業　359万5千円

○スーセー・マリー市中学生交流受入事業　89万2千円

その他

○知事選挙費　776万円

○農業委員選挙費　441万5千円



平成26年第1回定例会報告〔条例関係〕

（上段：条例名　下段：主な内容）

制定または改正された条例	結果
・竜王町課設置条例　（一部改正） 「竜王町ふれあい相談発達支援センター」において児童発達支援事業を開始するため新たに「発達支援課」を設置する。	可決
・竜王町議会委員会条例　（一部改正） 竜王町課設置条例の一部改正により常任委員会の所管する課が変更となる。	可決
・竜王町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等　（一部改正） 「竜王町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例」、「竜王町特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例」、「竜王町障害者総合支援条例」、「竜王町消防団員等公務災害補償条例」の一部改正を行う。	可決
・竜王町再生可能エネルギー等導入促進基金条例　（新規制定） 余剰電力の収益を今後の導入または設備の維持管理の財源に充てるため基金を設置する。	可決
・竜王町地域の元気臨時交付金基金条例　（新規制定） 地域経済活性化・雇用創出臨時交付金の一部を事業に充てるため基金を設置する。	可決
・竜王町手数料徴収条例　（一部改正） 滋賀県知事の権限に属する事務処理を竜王町に代わり東近江行政組合が共同処理することになる。	可決
・竜王町社会教育委員設置条例　（一部改正） 文部科学省で定める基準を照らし合わせて、社会教育委員の委嘱の基準を定める。	可決
・竜王町青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例　（一部改正） 委員となる者の基準を定めるほか、委員は町長が任命し、会長には町長が就くことを定める。	可決
・竜王町ふれあい相談発達支援センター設置条例　（一部改正） 子ども療育事業所を設置し、児童発達支援および保育所等訪問支援を実施するため。	可決
・竜王町環境基本条例　（新規制定） 自然と人、人と人が調和し快適な生活を営むことができる健全で恵み豊かな生活環境、自然環境および文化環境の保全および創造に関する基本理念を定める。	可決
・竜王町道路占用料徴収条例　（一部改正） 道路法施行令別表が改正されたことにより、所要の改正を行う。	可決
・竜王町法定外公共物管理条例　（一部改正） 道路法施行令別表が改正されたことにより、所要の改正を行う。	可決
・竜王町水道事業の剰余金の処分等に関する条例　（新規制定） 毎事業年度に生じる利益の処分方法、資本剰余金の処分、欠損金の処理方法等の必要な事項を定める。	可決
・竜王町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例　（一部改正） 法律の施行により団員の処遇改善のため、活動の実態に応じた適切の報酬・手当の支給について、必要な処置を講ずることが義務付けられた。	可決

平成25年度竜王町一般会計補正予算（第6号）

補正予算の多くは年度末を迎え各事業費、事務量、町税や国、県からの負担金や補助金などが確定しつつあることから歳入歳出予算を調整するものです。

問 介護予防プラン作成委託料が127万1千円減額となっているが

答 当初、月平均95件で見込んでいたが、12月現在の実績で月平均69・1件となったこと、要支援1、2の方の割合が減少していることにある。

おたっしゃ教室で認知症・介護予防！

平成25年度一般会計補正予算（第6号）

（単位　千円）

歳入補正予算の主なものは	
法人町民税	394,000
地域の元気臨時交付金（道路改修）	25,860
地域の元気臨時交付金（基金積立）	52,322
地域の元気臨時交付金（消防施設整備）	4,530
財政調整基金繰入金	△457,000
竜王インター周辺地区整備協力金	33,467
篠原駅周辺都市基盤整備事業債	15,900
社会資本整備事業債（道路改築）	△8,500
前年度繰越金	27,189

歳出補正予算の主なものは	
篠原駅周辺都市基盤整備事業負担金	14,719
介護保険システム改修業務委託料	1,617
保育所整備関連水道工事負担金	△6,111
竜王インター周辺地区整備費	△67,755
西小グラウンドフェンス設置工事	8,291
財政調整基金積立金	102,454
減債基金積立金	20,000
災害対策基金積立金	6,000
地域の元気臨時交付金基金積立金	52,322
人件費補正	23,412

竜王町課設置条例の一部改正

住民福祉部門の3課（住民税務課・福祉課・健康推進課）に新たに「発達支援課」が加わり、4課になりました。

問 発達支援課の所掌事務は

答 1. 発達支援に関すること
2. 療育に関すること
3. ふれあい相談発達支援センターに関すること

の業務になります。

〝たっぴー〟が4月に開所

子ども療育事業を今まで近江八幡市に委託していましたが4月から竜王町ふれあい相談発達支援センターに「竜王町子ども療育事業所〝たっぴー〟」が開設されました。

竜王町子ども療育事業所「たっぴー」は町公民館3階に設置

平成26年第１回臨時会が１月30日に開催されました。
土地の取得、一般会計補正予算、国民健康保険事業特別会計補正予算、
指定管理者の指定（２件）の合計５件が提案され、全会一致で可決しました。

土地の取得

町道仁殿線道路整備および竜王IC周辺地区道路整備(町道岡屋仁殿線)事業用地として取得

面積：42,099.51㎡
取得予定価格：212,904,243円
契約の相手方：滋賀県土地開発公社

竜王町国民健康保険診療所（医科）

国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算（第4号）

医科診療所指定管理料　15,000,000円ほか

指定管理者の指定

公の施設名称と指定管理者

鵜川・弓削・鏡ふれあいプラザ	（社会福祉法人）竜王町社会福祉協議会
竜王町国民健康保険診療所（医科）	（医療法人社団）弓削メディカルクリニック

議会報告会を開催します

日　時　平成26年５月24日（土）19：30～
場　所　竜王町公民館
テーマ　私たちのまちづくり
「教育、福祉」を考える

皆様のご意見をお聞かせ下さい。
ご参加をお待ちしています。

昨年の議会報告会の様子

時事往来 ～議長の足跡から～

去る、3月27日（木）に、近江八幡地域医療支援センターが竣工しました。当センターは、近江八幡休日急患診療所の老朽化などに伴い、新しく整備されたもの。

今回、診療所は従前より1.4倍の広さを確保し、多目的室を設け感染外来の待合室、あるいは災害医療時にも対応できる構造となっています。

さらに、近江八幡蒲生郡医師会が主体となった在宅療養支援センターも併設されています。

所在地　近江八幡市出町381番地
近江八幡休日急患診療所
TEL　33－9311

総務産業建設常任委員会

「竜王町環境基本条例」の制定

自然と人、人と人とが調和し、快適な生活を営むことができる健全で恵み豊かな生活環境、自然環境および文化的環境の保全および創造に関する基本理念を定め、町民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的として、条例を制定するものです。

主な質疑応答

問 **条例の中に具体的な施策が示されていない。**

答 基本条例は理念条例で、長期的な展望を示し、中身は基本計画などで具体化する。

問 **基本計画策定のスケジュールは。**

答 平成26年度でアンケートを実施し、27年度で計画策定する。

問 **罰則規定はどうか。**

答 条例違反にはなるが、罰則規定はない。

竜王町防災計画の見直し状況

見直しの概要については、原子力災害対策編を新たに策定し、浸水想定は100年確率で時間雨量109ミリを想定、液状化は町内住居地域の多くが80%以上の発生率を想定、福祉避難所の設置について協議している。

また、要援護者支援台帳整備にも取り組んでいる。

重点検討項目については、防災拠点を2箇所追加設定し、水防倉庫を東南部、北東部、北部の各地域に位置付けた。情報伝達システムについては、非常に弱いため十分検討していくことなどの説明を受けた。

堤防の美化活動

主な質疑応答

問 **第2次避難所に町公民館は考えていないのか。**

答 町公民館は福祉避難所も含め多用途の避難拠点と考えている。

問 **水防倉庫は具体的に検討しているのか。**

答 日野川沿川には現在水防倉庫はなく、総合的な防災倉庫設置を検討している。県や関係機関および地元とも協議する。

問 **建設工業会が災害体制に入ってないが、水防第2配備に入れるなどの考えはないのか。**

答 協定に基づき、その都度要請させていただく。

一般競争入札の導入

今回初めて導入した一般競争入札は、企業側の積極的な入札参加があった。特定建設工事共同企業体（JV）方式を採用したことで地元業者への技術移転による技術向上に期待できるなどの効果があった。

ただし、事後審査型なので業者決定が後日となるなどの課題が残った。

主な質疑応答

問 予定価格は上限額か。また最低制限価格との関係は。

答 予定価格は町が工事を発注する上限額です。最低制限価格は、工事が確実に履行、品質を確保できる額であり、その幅の中で応札され、入札価格の最も低い業者に決定している。

問 予定価格と最低制限価格の幅が工事によって違うが、統一できないのか。

答 竜王町の場合、いろんな状況や工事内容も含めて、その都度判断し、最低制限価格などの価格設定を行っている。

主な意見

国から、低入札価格調査基準価格及び最低制限価格について、その算定方式の見直し要請があることから、町当局は整合性を保つよう努力されたい。

教育民生常任委員会

小規模多機能型居宅介護施設の整備

「いきいき竜王長寿プラン　竜王町高齢者保健福祉計画」に基き、平成26年度中に整備する。

小規模多機能型居宅介護とは、利用者のニーズに合わせ、「通い」「宿泊」「訪問」を使って柔軟に対応できる支援をするサービス。

日常生活圏域別介護サービス基盤整備状況を考えると、竜王西小学校区に設置を予定している。公募により事業者選定を行い、平成27年3月下旬に開設の予定。

主な質疑応答

問　**事業所を指定するのに介護保険運営協議会を開催されて指定するのか。**

答　介護保険運営協議会で選考審査を行う。これにあたっては、事前に委員の研修を予定している。

近江八幡・竜王少年センター

主な質疑応答

問　**少年センターの竜王町への配置はどの様になるのか。**

答　竜王町へは少年センター職員の6名が交代で来られる。相談日には必要に応じて臨床心理士が対応される。

問　**竜王での相談業務はどのように町民に周知するのか。**

答　広報等で周知する。電話相談時にも竜王で開催していることを知らせる。

竜王中学校体育館改修工事

2月28日に完成した体育館の現地調査を行った。

竜王中学校体育館改修工事完了

グループホーム わかすぎの丘・七里

（平成25年6月1日開所）

訪問し、入居者・職員さんと意見交換を行いました

山之上診療所が変わりました

患者さんの声

「きれいになってよかった」
「親切に診てもらえました」
「なくなるのかと心配していましたが、続けてもらってよかった」

※関連記事 P6、P12

近江うし丸

地域活性化特別委員会

滋賀竜王工業団地工事進捗状況

岡屋交差点改良に伴う新設橋梁工事と、工水・上水道整備工事は、その期間中は通行止めなど交通規制がひかれる。

主な質疑応答

問 **インター南側の道路拡幅工事の予定は。**

答 公図混乱箇所もあり調査を進めている。平成27年9月には歩道工事も含め完了する。

問 **工業団地への業務用車両や従業員通勤車両の出入り口は、国道477号の2か所か。**

答 2か所で対応する、岡屋側道路は利用しない。

道の駅、南側進入路

新年度予算に計上し調査を進める。地元と協議を再開し、公図混乱地区は用地の課題を調査しながら事業を進める。

I社の北部地域の住宅地開発

県に開発許可の取り消しを働きかけている。町では地区計画の見直しで新たな開発の可能性を探っている。

現地調査

エイエフティー株式会社竜王工場を視察した。

同社は、樹脂加工と塗装技術に卓越されており、事業量増大に伴う工場施設増築を計画されている。

視察研修

三重県いなべ市において藤原工業団地現場視察を行った。

企業誘致に向けた取り組みでは、企業との情報交換を年間4回行っている。

特に、国との交渉などに、企業グループで当り、企業自らが成果を残せたことは全国的にも珍しく、東海環状自動車道に関する要望など道路行政の改善は企業誘致にもつながっている。

このことから、滋賀竜王工業団地は交通アクセスの有利性を最大限生かす一方で、従業員住宅地確保には、国や県および企業と連携を強化することを地元行政が積極的に取り組まなければならない。

いなべ市との意見交換会

議会基本条例推進特別委員会

視察研修

議会改革に向け調査研究を重ねることから、今回は、議会の監視機能のさらなる充実強化を図り、議会が主導的・機動的に活動できるよう、石川県津幡町にて通年議会の成果や課題を学ぶとともに、その他議会改革の取組みについて意見交換を行った。

主な意見は

開会日を早くし、予算審査の時間拡充。

新規事業や重点事業は事前に説明資料の提出を求める。

予算の積算を審議するだけでなく、予算の執行状況とその管理状況を注視する必要がある。

議会の議決事件の拡充

関係法令において議会の議決を義務付けているものは問題はないが、重要事項として取り扱うべきものにあっては議会の議決事件とすべきであると考える。

総合計画における基本構想については、執行部も議決事件として認識しているが、その他に重要事項として、議決事件になり得るものについて検討を重ねている。

みなさんの＼声／を町政に届けます

一般質問

9議員が12問

❶ 避難情報等のシステム構築について	貴多　正幸 議員
❷ 小地域「互助」システムの構築について	内山　英作 議員
❸ 外出移動支援の充実について	内山　英作 議員
❹ 地域福祉推進条例の制定について	内山　英作 議員
❺ 手話基本条例の制定を求める	若井　敏子 議員
❻ 町の診療所はつぶさないで！	若井　敏子 議員
❼ 住宅地確保施策の進行状況について	松浦　　博 議員
❽ 竜王農業の活性化と担い手への農地集積推進事業について	小森　重剛 議員
❾ 健康づくりの習慣化について	山田　義明 議員
❿ これまでの一般質問の回答にかかる具体的対応について	菱田　三男 議員
⓫ 農業の振興について	古株　克彦 議員
⓬ 子育てしやすい町づくりについて	岡山　富男 議員

貴多 正幸 議員

問 避難情報のシステム構築は？

答 取り組んで行く

問 平成26年度予算において、災害情報システム最適化調査研究業務委託料として、162万円が計上されているが、その詳細は

答 委託料は、町民皆さんに等しく、迅速・確実に情報が伝えられる方法について総合的に調査研究を行うため実施するもの。具体的には町全体の最適化という観点から、様々な開発手法、運用手法の中より運用・保守・セキュリティ対策・設備費用など総合的な見地に立った町の最適な手法を調査研究し、今後における実施計画策定を行うための基本構想の策定業務である。本町の実情を踏まえつつ、情報伝達に関する万全なシステムの構築に向け取り組んでいく。

Jアラート（全国瞬時警報システム）自動起動装置を整備（平成26年3月）

問 小地域「互助」システムは？

答 社会福祉協議会と連携していく

内山 英作 議員

問 竜王町では、早くから自治会を単位とした福祉活動を町社会福祉協議会を中心に進めている。

この自治会を基盤としたご近所ケアシステム、具体的には福祉委員会活動の強化が必要になってくる。

小地域「互助」システムの構築に必要な福祉委員会活動への町の具体的施策は何か

答 少子高齢化に伴い、福祉委員会をはじめ地域の中で多様なニーズに対応できる体制が望まれる。

町社会福祉協議会とも連携を図りながら、重層的な地域の支援体制の構築に向けて今後も務めていく。

地域のふれあいサロンの様子

問 外出移動支援は？

答 引き続き支援を実施

問 通院や買い物、役場・公民館、図書館などへの用事を済ませたいが交通手段がない。

今日まで町内循環バスやデマンドタクシーの試行運行に取り組んだが、利用者数が少なく町民のニーズに合った施策とはならなかった。

竜王町の長年の重要課題のひとつである外出移動支援施策の推進は

答 外出支援は、住民同士のふれあい交流などによる社会参加、閉じこもりや介護予防に大きな効用となり得る。

特に、NPO法人外出支援ボランティアスマイルに対しては、今後、ボランティアの募集や補助金の交付など引き続き支援をしていく。

NPO法人外出支援ボランティアスマイルの送迎用車両

問 地域福祉推進条例の制定は？

答 考えていない

問 竜王町には今日まで町民、町、事業者などの役割を明確にし、地域福祉に関する仕組みを制度として定めるものがない。

条例と町地域福祉計画は列車に例えると二本のレールに当たる。もう一本のレールがないと列車は動かないが

答 既に策定している地域福祉計画に沿った施策を地域住民の皆様と協働で展開することにより、地域福祉の推進を計画的、段階的に行う。

竜王町地域福祉計画冊子

問 手話基本条例制定は？

答 考えていない

若井 敏子 議員

問 **聴覚障害者に対する町の施策の内容と、手話基本条例制定は**

答 聴覚障害者向け施策はファックス等用具の給付、手話通訳者派遣等の実施、平成25年度から手話奉仕員の養成をしている。

石狩市手話に関する基本条例は、「手話を使用する市民が心豊かに暮らすことができる地域社会の実現」「手話により意思を伝え会う権利は尊重されなければならない」等とされており、手話を使える環境の保障は竜王町でも必要と考えている。現在、町として条例の制定は考えていないが、聴覚に障害がある方が人とつながり、学校、家庭、地域で手話を使える環境の構築をしていきたい。

手話通訳者「じんけんを考えるみんなのつどい」より

問 町の診療所はつぶさないで！

答 2年間は指定管理

問 **今日までの国保診療所の果たしてきた役割と二年後の対応は**

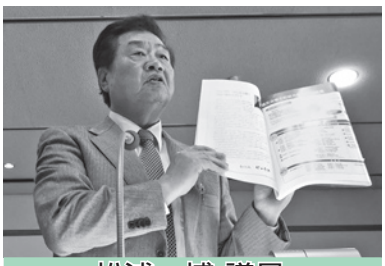
答 町の国保診療所は有能な医師やスタッフのもとで、公的医療機関として成果をあげてきた。

国保診療所の任務は、地域医療を確保すること、地域住民の健康を保持し増進すること、公衆衛生の向上、増進に寄与すること、模範的診療を行い国保事業の運営に貢献すること等がある。

今回、実績ある事業者に竜王町国保診療所を2年間管理していただくことになったが、その後については、2年間の成果も含め判断する。現時点では、国保診療所の役割は無用だとは考えていない。2年後に民間に売り渡すとも考えていない。

次の段階に進むためには2年間の成果も判断要素となることを申し添える。

改装後の竜王町国保診療所



松浦　博 議員

問 住宅地確保施策の進行状況は？

答 引き続き重要施策として進める

問 若者定住に向けた企業との情報交換は

答 経済交竜会や若手従業員との懇談会を開催している。「竜王町に住みたくとも住む場所がない」との意見がある。今後も懇談会を継続する。

問 工業団地への企業誘致に加えて住宅地確保の取組みは

答 １２００名の雇用創出が見込まれ、住宅確保は重要課題である。

企業とも連携しながら、規制緩和に向け行動する。

問 人口１４０００人の目標達成のために、８００戸の住宅地確保は

答 既存住宅地の空き区画・集落内空き家への入居促進。市街化区域周辺への集合住宅の誘導。山之上の新規住宅地確保のため地元・地権者・関係業者との調整を行いながら進める。

問 農振法のクリアに向けた住民発議は

答 農業振興計画書の作成と、本町農業・まちづくりの実情から、規制緩和を求める「構造改革特区」制度を活用する。

問 北部地域の新規住宅地開発に向けたＩ社との折衝状況は

答 滋賀県から開発許可の取り消しが出来ないとの見解から具体的な打開策が見いだせない状況にある。引き続き住宅地整備に向け努力する。

目標人口１４０００人を達成しなければ、「まちづくり」の達成はない。

都市計画マスタープランより

小森 重剛 議員

問 竜王農業の活性化は？

答 農地集積による効率化を目指す

問 竜王ブランドの米、野菜、そば、果物などの竜王農業を、町として今後どのような施策をもって活性化し、確立して行くのか。

また、担い手の育成、農地集積の具体的な計画は

答 竜王ブランドとしては、引き続き「環境こだわり米」の普及推進に取り組み、環境こだわり農産物認証の普及と生産技術の向上を図る。

また、野菜その他の農産品においても関係機関と連携して高品質生産に取り組む。

担い手育成は、各集落の担い手として位置づけられる特定農業団体、認定農業者をはじめＪＡとも連携し、国の補助制度を活用しながら新たな担い手の掘り起しを図る。

農地の集積においては、農業委員会、農地中間管理機構、ＪＡとの連携により担い手への農地利用の集約化を図る。

集落営農による水稲の育苗作業

山田 義明 議員

問 健康づくりの習慣化は？

答 各種事業を実施

問 医療費は年々増加傾向にあり、これらの原因は肥満や長年の生活習慣などによる疾病だと聞いている。健やかに暮らせる健康づくりの習慣化で防止が図れる施策が必要と思うが、その取り組みは

答 特定健診や各種がん検診の受診を促進するとともに、栄養と食生活の改善を目指し、子どもの頃から好ましい食習慣を身につけることと、一日に野菜を350グラム摂取することなどの食育推進をしている。また、平成25年度は、「てくてく健康効果事業」を実施した。

さらにスポーツ推進の側面からも健康増進の切り口としてラジオ体操やウォーキングの普及に取り組み、健康体力づくり講習会や、健康体力フォーラムをはじめ、自治会への出前講座も開催した。

地域でのラジオ体操の様子

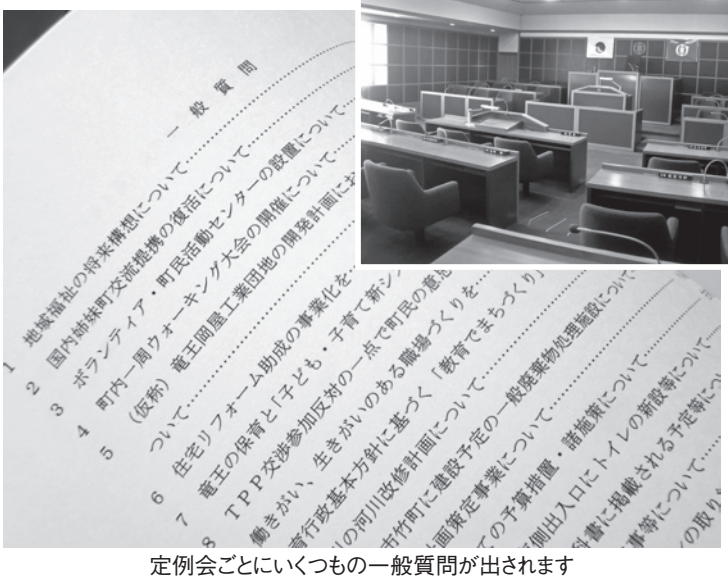
問 一般質問の回答は？

答 適宜判断し報告する

菱田 三男 議員

問 過去、定例会における一般質問について「検討する」「調査・研究する」と回答されることが多かったが、その後の経過、結論について報告を受けたことがないと記憶している。一部については、改善実行された案件もあることは認識しているが、大多数の案件は、回答すらない状態ではないか。この現状について

答 経過報告ができるような状況になったものについては各委員会や全員協議会にて随時報告してきた。しかし、検討や調査研究が未了のもの、状況の進展がないものについては報告できていない案件もある。今後は進捗状況、経過について適宜判断し報告する。



定例会ごとにいくつもの一般質問が出されます

古株 克彦 議員

問 法人化めざす特定農業団体の行く末は？

答 17団体は3年以内に認定切れ

問 今後の農業振興を図るには、農業者の高齢化、後継者不足の深刻化、国際競争の激しい環境の中で、農業の大規模化は避けられない。平成22年当時で農業生産法人2経営体、認定農業者数が31人であったが、今後の見通し及び町としての取り組みは

答 農業経営の大規模化・効率化を進める担い手への農地利用の集積・集約化をめざし、受け皿として認定農家の育成や集落単位で行う集落営農の組織化を進めている。現在では認定農業者32名、農業生産法人2団体。法人化をめざす特定農業団体は17団体、今後3年以内に徐々に認定期限がきれるが、それまでに法人化されるよう支援を継続する。

答 農業委員会から相談を受け、法人化をめざす上での組織化やリーダー育成での問題点を話し合う。

トラクターで中割の作業中

岡山 富男 議員

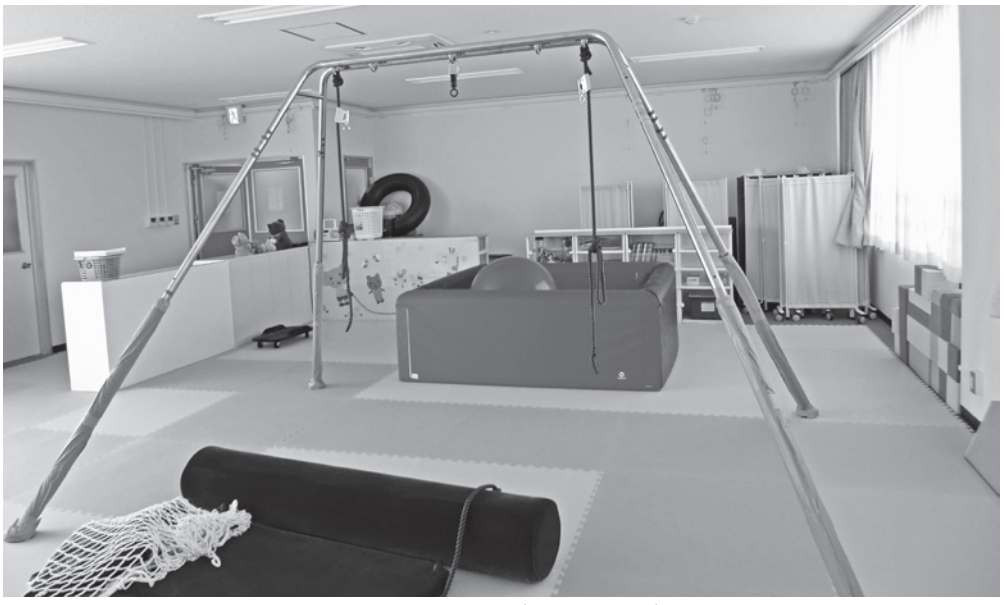
問 子育てしやすい町づくりは？

答 引き続き鋭意努力する

問 町の子育てに対する様々な取り組み状況と子育て世代の住宅施策は

答 平成26年4月開所の「子ども療育事業所」における、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを応援できる環境づくりを考えている。

答 山之上地先における住宅確保は、具体的に住宅地の候補地を絞り込みながら、周辺インフラ整備に向けた検討に着手したところである。



ふれあい相談発達支援センター（町公民館3階）運動療法室

竜王町議会広報
■発行・竜王町議会
■編集・議会広報特別委員会
〒520－2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3
☎（0748）58－3713

シリーズ いきいき人生

須恵在住 竹内（たけうち） 栄市（えいいち） さん

自宅の窯前で

私は平成3年に農業協同組合を早期退職したことで、人生の再出発として趣味の絵画を活かした陶芸に取り組む道はないだろうかと考え、信楽で技術を習熟することで仕事と趣味を両立しようと陶芸会社の門をたたきました。

丁度、信楽では陶芸博覧会が開催されていて、展示されている陶芸品の美しさに感動を覚えたものです。土からのものづくりの楽しさを日々感じながら、まず一〇年を目標に陶器会社に勤めることを決意しました。

平成12年9月までの足かけ一〇年間勤められました。大変な苦労もありましたが趣味が先行して楽しい日々を送ることが出来ました。

退職後は陶芸窯を導入、近隣の人たちの応援もあり陶芸教室開校への道も自然に定着し、現在では10名前後の方々に教室へ参加をいただいています。

今は、１３０ａの水田を耕作しながら陶芸との両立をしています。この状態を維持するには毎日のリズムを崩さず健康であることが必須条件であると思います。

皆さまのおかげで今日があることに感謝を忘れることなく、これからの人生を過ごしていきたいと思っています。

編集後記

議会広報特別委員会で、鳥取県西伯郡大山町及び東伯郡北栄町において議会広報について意見交換会を主とした視察研修を行いました。

両町とも広報については特別委員会でなく常任委員会に格上げし、広報発行に力を入れておられます。

議会活動を知ってもらうためには先ずは、広報を読んでもらわなければならないことから、発行する議会側の自己満足でなく、皆様が求める情報誌になるよう紙面づくりに工夫されています。

例えば、議会に関心のない人に興味をもってもらうために住民に多く登場してもらうことや、定例会・委員会などの質疑内容や担当課とのやり取りなど問答方式で載せるなど、住民の皆さまが関心のもてる工夫をされています。

両町の広報誌づくりを参考に、今回発行の議会だよりから紙面を見やすくするための改善を図っていきますので皆様のご理解をお願いします。

鳥取県大山町、北栄町視察研修

議会広報特別委員会
委員長　西村　公作
副委員長　松浦　博
委員　竹山　兵司
委員　岡山　富男
委員　内山　英作
委員　古株　克彦

「近江うし丸」です